

ハートフルかみす

だいちゃんと伝える交通安全



鹿島地方事務組合消防本部 女性消防士



男女共同参画のムーブメント 神栖Cross Link



男女共同参画のムーブメント	P2・3
輝くひと① だいちゃんと共に五十年	P4・5
輝くひと② 女性消防士	P6・7
デジタルフォトコンテスト 入賞作品結果発表	P7
ピーマンタイム	P8



男女共同参画

「ハートフルかみす」は、市民の編集委員によって作成される男女共同参画社会を目指すための情報誌です。

男女共同参画のムーブメント

小さな輪から大きな輪へ、

可能性を広げる女性の力

今回紹介するのは、企業横断女性コミュニティーの場、「神栖Cross Link」です。



神栖市内に事業所がある、青木油脂工業株式会社・花王株式会社・日華化学株式会社・日本乳化剤株式会社との4社で働く女性社員4名で構成されている団体です。メンバーは年齢もさまざま、出産や子育てを経て仕事を続けています。「DE&I」をテーマに情報共有をおこない、年齢や性別に関係なく、だれもが安心して長く働き続けられる環境づくりの促進を図っています。4名のメンバーにお話を伺いました。

始まりときっかけは？

企業同士の情報共有の場は以前からありましたが、出席者は、基幹職以上や、男性の方が大半を占めているのが現状でした。



活動について楽しく話してくれたメンバーのみなさん

メンバーのうち2名が、代理で出席した時が最初の出会いとなり、「女性の情報交換の場が欲しいね」の会話が始まりでした。
2社での情報交換が始まり、各社の工場長の後押しがあり、4社へと拡大し現在に至っています。

メンバーに選ばれた時の心境は？

最初は、どのような感じなのか、皆さんにメリットがあるようなことをお伝えできるのか、とても不安でしたが、他

企業の取り組みを知ることでもできるの

で楽しみでもありました。

皆さんとお話していると、思いも

よらなかつたことや、違いなどの気づ

きがあり、とても有意義な場です。

また、各メンバーから原動力をもら

える場でもあります。

DE&I 活動を進めるために

心がけていることは？

●多方向からのソフト面のアプローチが必要。
●初めに、アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）について知ることが大切。

①『知る』：知り、可視化する

②『気づく』：自身や社会の偏見意識に気づく

③『取り組む』：アンケートなどの

少数意見にも耳をかたむけ、声を上げやすい環境と心理的安全性、公平性を確保する

ディー・イー・アンド・アイ
* D E & I は、
ダイバーシティ
Diversity (多様性)
エクイティ
Equity (公平性)
インクルージョン
Inclusion (包摂性)
の頭文字です。



令和7年度 神栖市男女共同参画推進事業者表彰 受賞者

神栖市では、地域や職域において男女共同参画の推進に積極的に取り組んでいる事業者・団体・個人を表彰しています。今年度は、神栖Cross Linkを表彰しました。



神栖Cross Link

「DE&I」をテーマに各社と情報共有をおこない、より良い職場環境づくりの促進を図っています。

読者の声

皆さんからいただいた前号のハートフルかみすの感想を紹介します。

バックナンバーはこちら→





Equity (平等)
全員に同じ箱を配布。
試合をみられない人がいます。



Equity (公平)
必要に応じて箱の高さを変え、全員が試合
をみられる状態をつくることです。

取り組みや活動の内容は？

「DE&I」をテーマに、各社と情報共有をおこない、より良い職場環境づくりの促進を図っています。交換した情報は、各社に持ち帰り、横展開し、改善していくことになりました。

良い取り組みはさらに拡大され、工場、全社展開へとつながっています。

▲女性専用シャワー室



▲生理用品の備品化



▲休憩室

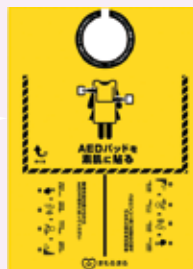
具体例

「女性の能力活用・職域拡大」

女性も製造現場で活躍してもらえるよう、女性専用シャワー室・簡易ベッドの設置、生理休暇の名称の変更、スラックスの濃い色への変更など、情報交換した取り組みを各社で実施

「男女が共同して参画できる環境づくり」

- ①生理に関する動画研修を男女区別なく視聴、生理用品の備品化や緊急時対応
- ②熱中症対策として、工場中心部に休憩室を設置(現在2社実施)
- ③AEDプライバシーシート(倒れた人の身体が露出されるのを防いだまま、迅速にAEDの使用・胸骨圧迫可)の設置(現在4社実施)



女性に対して男性がAEDを使いづらいとの声に対応するため、プライバシーシートを設置したところ、男性からも「恥ずかしいのは同じ」という意見があり、全員に使用することにしました。

今後について

私たちは、「女性に優しい環境に」との思いで活動をスタートしましたが、男性やシニアの方にも喜んでもらえることもあります。

結果として「皆に優しい」ことが多く、現在、活動のテーマとして掲げ

いるDE&I活動の「誰もが」につながっています。

今後は、現在参加している4社だけでなく、多くの企業とつながり、より一層、誰もが、働きやすく、誇れる職場環境づくりを目指していきたいと思っています。



神栖Cross Linkの活動の様子
「毎回、あっという間に時間が過ぎてしまいます！」

読者の声

手話の条例が施行されたことで子供から大人まで多くの人の理解が進み、お互いに尊重できる社会になればいいと思います。

輝くひと

1

だいちゃんと共に五十年

交通安全教室で伝える命の大切さ

茨城県交通安全教育講師

高須しづ子さん

腹話術人形のだいちゃんを見たことがありますか？ 交通安全教室の時に小学校に来てくれた、あのだいちゃんのことです。だいちゃんは今でも現役で、各施設を訪問しています。今回は、だいちゃんと長年一緒に交通安全教室の活動をされている講師の高須しづ子さんをご紹介します。

●結婚を機に退職して

高須さんは息柵で生まれ育ち、昭和五十年に鹿島警察署に入署。交通課に所属し、駐車違反などの取り締まりをしていました。

結婚を機に、七年勤めた警察署を退職し、専業主婦として子育てに忙しい日々を過ごしていました。ある時、警

察官のご主人の上司から、「交通安全指導をやってくれないか」と連絡が入りました。子育て真っ最中で、

ご主人は、当時つくば万博の仕事で忙しく、両立できるか悩みましたが、実家が神栖だったので「やりくりすれば何とかなる！」と決心しました。

●腹話術と交通安全教室の始まり

腹話術を取り入れた交通安全教室は全国的におこなわれていました。腹話術は子どもたちの興味を引き、楽しみながら交通ルールを学べるということで導入されたようです。高須さんも、自ら腹話術を習いに行き、検定を受けたそうです。

「腹話術は、口を開けずに人形が話しているかのように見せるのですが、

だいちゃん、道路を渡る時は右見て左見て！目だけ動かしてもダメだよ！



どうしても口が動く言葉があります。例えばパピポペポ。唇を付けないと発音が難しいです。口を動かさないので腹話術でしたが、この4・5年は「口ナでマスクをするようになったので、口元を気にしないスタイルに慣れてしまいました(笑)」

●だいちゃん怖い？

小学校では大人気のだいちゃんですが、1・2歳の幼児にとっては、少し怖い存在。いきなりだいちゃんを見て、泣き出す子もいました。そのような経験を通して、幼児の前では「だいちゃんは木の人形だよ」と安心させることから始めます。

交通安全について伝えるときに大切



子どもたちの笑い声。みんなだいちゃんに夢中でした

なことは、子どもたちを飽きさせないこと。

「腹話術は台本通りにやっても伝わらないですね。テンポ良く掛け合うのがコツです」

そのために面白い内容を考えています。笑うことで記憶にも残ります。

●東日本大震災での被災

とても明るく活動的な高須さんですが、五十年の活動のなかで、ご自身のつらい体験もありました。それは平成



横断歩道を渡る練習。手を上げて、みんな上手に渡れました

二十三年の東日本大震災での被災です。建ててまだ数年のご自宅が傾き、精神的なショックを受けました。気持ち落ち込み、だんだんと体調を崩していったそうです。

仕事をやる気にもなれずにいたところ、学校の先生をしている友達から「交通安全教室をやってほしい」と何度も声がかかり、また再開することができました。だいちゃんが高須さんの心の支えとなりました。

●形は変わっても：

最近は、腹話術をする人が減ってしまい、高須さんのあとを引き継ぐ方がいません。でも今、横断歩道の渡り方を子どもたちに教えるなど、高須さんをサポートしてくださる方がいるので、「伝え方は変わりますが、これからも続けていきたい」と前向きに話してくださいました。

「交通安全教室は、自分ひとりの力ではできません。交通安全協会や交通安全母の会、市役所などの協力があり、成り立っています。教室を開催する保育園などの近くに住む方々に参加してもらうことで、子どもたちの印象にも残ります。これからも、周りの皆さんと協力していきたいです」

●だいちゃんの魅力

だいちゃんのことを初めて知ったという方もいらっしゃると思います。私も昨年初めて拝見しました。夏休み前の市内小学校、低学年の交通安全教室でした。保育園・幼稚園の時に見たこ

とを覚えている子は「もしかしてだいちゃん来てるの？」とワクワクした様子。高須さんがだいちゃんと一緒に登場すると、歓声が上がりました。前に見た時の内容まで覚えていたのには驚きました。だいちゃんが、これほど子どもたちの記憶に残ったのは、腹話術の魔法？「笑うことで記憶に残る」との証明でした。

高須さんが、だいちゃんと交通安全教室を始め、五十年。最初に出会った子どもたちの年齢は六十代前後。もしかしたら、お子さん、お孫さんと共通の話題になるかもしれません。半世紀に渡り子どもたちに寄り添い、楽しく交通ルールを教えてください、ありがとうございます。

これからもユーモアあふれる腹話術で、たくさんの人に交通安全の大切さをお伝えくださいますよう、お願いします。



だいちゃんは生きてるの？ 子どもたちは興味深くみていました

読者の声

小学生の頃に遊んでいた友達にろう者がいました。みんなで身振り手振りで意思の表現をして会話していたことが、手話だったと思い返しました。

輝くひと

2

男性が多い職場で輝いている女性の活躍

鹿島地方事務組合消防本部

消防士 安藤美空さん

消防士は男性、というイメージを持つ方も多いと思いますが、全国的に女性も増加傾向にあります。

鹿島地方事務組合消防本部では、消防士302名中、女性消防士は1名です。初の女性消防士として、2年目の安藤さんにお話を伺いました。



「一番に駆け付け、安心してもらえる存在になりたい」と話す安藤さん

つないでいく先輩方の姿に強く憧れ、「自分も救急隊員になりたい」と感じたことが、今の進路を決めた大きなきっかけです。

家族は、消防士の仕事について、男性のイメージが強く、体力的な面や火事の現場の中に入る危険から、消防士になることを心配していましたが、私の意志が固く、今では、応援してくれてい

●消防士(救急隊員)を目指したきっかけ

元々医療関係の仕事に就きたいという思いがありました。その中で、助けを求めている人のもとへ一番に駆け付け、少しでも安心してもらえる存在になりたいと強く思うようになり、救急隊員を志しました。

また、専門学校在学中の神栖消防署での同乗実習では、実際の現場で冷静かつ迅速に対応し、さまざまな傷病者を救い、確実に病院につ

ます。

●活動内容

1年目は消防隊メインで、消防車に乗り込み、火災現場に直接行き、消火活動もおこなっていました。

現在は、救急車に同乗し、傷病者の観察や血圧測定などのバイタルサイン測定をおこない、状況把握に努めます。

●苦労したこと

専門学校では座学がメインだったため、いざ現場に出ると座学の知識だけでは対応できない場面が多くあることに戸惑いました。試験問題のように正解が一つに決まっているわけではなく、現場ごとに判断が求められる点がとても難しいです。

●訓練について

救急隊員として、空いている時間を使って訓練をしています。知識だけでなく、実際の動きや連携の大切さを学びながら、少しずつ経験を積んでいます。運動は苦手ですが、体力づくりについては、今後力を入れていきます。

●女性消防士としての強み

女性であることは、傷病者対応の場面で大きな強みになると感じています。



す。男性隊員では配慮が必要な観察部位の確認や、デリケートな質問についても、傷病者の気持ちに寄り添いながら対応しやすいと感じる場面があります。その点を活かし、安心してもらえる救急対応を心がけています。知識や技術だけでなく、声かけを意識的にしています。

●将来の目標、目指すところ

将来はどんな現場でも落ち着いて対応でき、傷病者やご家族の方から「この救急隊員が来てよかった」と思ってもらえることが目標です。

知識や技術を身に付けるのはもちろんですが、それだけではなく不安な気持ちに寄り添い、安心感を与えられる存在でありたいと考えています。

また、自分が署に入る前に現場で憧れた先輩方のように、周囲から信頼され、後輩からも目標に思ってもらえる救

急隊員になることを目指します。女性の消防士が将来増え、活躍することを願っています。

消防本部では、女性専用施設(仮眠室や浴室等)の整備が進められています。安藤さんの現在の勤務は日勤ですが、今後24時間交代勤務をおこなう予定です。

「一番に駆け付け、助ける」とおっしゃった言葉が印象的でした。男性中心の職場環境に飛び込み、頑張っている姿を多くの方に知ってもらいたいです。これからも、傷病者やご家族の方に寄り添いながら救急対応をお願いします。

ますますご活躍されますよう応援していきます。

ハートフルかみすの創刊号から現在に至るまで、多くの輝く方を取材させていただきました。男性の職場、男らしさ、女性の職場、女らしさ、アンコンシヤス・バイアス(無意識の思い込み・偏見)が払拭され、誰もが輝ける社会となることを願っています。



Thank you

男女共同参画デジタルフォトコンテスト 入賞作品結果発表

市民の皆さんに男女共同参画について理解と関心を深めていただくため、毎年作品を募集しています。今年度は「めっけだ！自分らしさ」をテーマにデジタルフォトを募集しました。



最優秀賞

私の趣味である一眼レフの写真撮影を3歳の長男が見ていて、「自分もやりたい」と言い出したのをきっかけに、子供用のカメラを買ってあげました。初めは、自分の好きなおもちゃなどを撮影していましたが、しばらく続けていたら弟を撮ってあげたいと言い出し撮影している時の写真です。(匿名希望)



優秀賞

夏の暑さに負けずに今年も頑張りました。(鶴岡未帆様)

神栖市の音楽発表会に向けてピアノの練習を頑張っています。弾くまでにギアが入らずの日々でしたが、いざやるとなるとスピードを上げて毎日の練習に励んでいます。弾けるようになって楽しいようです☆発表会が楽しみ！(匿名希望)



毎年、年始に陸上クラブのみんなで、息栖神社まで13キロをランニングしながら初詣に行きます！選手それぞれが自分らしい夢や目標を祈願しています！(狩浦春菜様)

優秀賞

けんかもたくさんするけれど、助け合いながら、3きょうだい日々成長しています。いつも笑顔であることを大切に、楽しく過ごしています。(鈴木美穂様)



読者の声

ドローンレーサーという職業を初めて知りました。これからドローンを扱える人が増えそうですね！機会があったら操作を体験してみたいです。



ちよこっと休憩!

ピーマンタイム

クロスワード

1	2	3	4	C	5	6
7			8		9	DF
10			11	12		
E		13				14
	15		A		16	
17			18	19		
20				21		G

タテのヒント

- 固く信じていて疑う余地がないこと。勝利を〇〇〇〇するなどといいます。
- 水が地中から自然に湧き出ているところ、またその水。
- 多様な画材で絵を描き、作品を発表したり販売したりして生計を立てる人。
- 少し食べたり飲んだりして、料理の仕上がりを確認すること。
- 春・夏・秋・冬があり、俳句では季語を使って表します。
- 文化センターの隣にある池の名前。
- 節約・儉約は良い意味で使われますが、〇〇は良い意味では使われません。
- くぼ地に自然に水がたまった所。湖ほどには大きくないものを指します。
- 日本の伝統衣装・着物を専門に扱う、和のファッションブティックです。
- 建物や部屋の入り口につけられた開き戸、引き戸のこと。
- 一階、その上は何というでしょう。
- 液体から気体に状態変化する現象。
- 栗などの実の周りがある、とげのついた最外側の皮などをこう呼びます。

ヨコのヒント

- 一般的に芸術的な絵のこと。
- 足袋・靴下などはき物をはいていない足のこと。
- 紙屑などを入れておく入れ物です。ゴミ箱・ごみ入れなどともいいます。
- 物事をおこなう適切なタイミング、「〇〇尚早」など使われます。
- 服の〇〇、皮膚の〇〇などやっかい扱いされます。
- 他から動作を受けることを意味し、柔道などで投げられた時の衝撃を和らげる技術。
- 一人ひとりの存在そのものに価値があり、地球より重いなどといわれます。
- 時を刻むもので、柱(掛)〇〇〇、腕〇〇〇などがあります。
- 将棋で同じ縦一列に、自分の歩を2枚並べる反則を「〇〇」といいます。
- 桃太郎が家来にあげたのは〇〇だんご。
- 物事を行う前に手順を考えること。「〇〇〇〇を立てる」
- 礼儀を重んじる競技で、形と組手の競技があります。
- 野球選手の役割で、ピッチャー、キャッチャー、内野手、〇〇〇手など

答え

A	B	C	D	E	F	G
---	---	---	---	---	---	---

ヒント：神栖市にあり鹿島・香取と共に東国三社の一つ。昨年、「息栖にぎわいテラス」がオープンして、更に盛り上がっています。

正解者全員に カミスコくんグッズをプレゼント

引換方法=任意の用紙(どんな用紙でもかまいません)に①~③を記入し、市民協働課(本庁2階)へ持参
応募は、おひとりさま1回まで

- 答え
- ハートフルかみすの感想や意見
- 氏名

引換期間=4月30日(木)まで
※商品はなくなり次第終了。

応募
待ってるね!



お知らせ

ハートフルかみすは、今回のVol.45をもって紙面での発行を終了します。
これからは神栖市ホームページに情報発信していきますので、よろしくお願いします。

編集後記 編集委員からひとこと

●柴田委員

たくさんの学びと出会い、貴重な体験をさせていただきました。皆様のメッセージうれしかったです♪
ありがとうございました(^_^)/

●伊藤委員

ハートフルかみす編集委員の3年間、神栖市で活躍されている方々の取材を通して、たくさんのことを学ばせていただきました。

●遠藤委員

拙い文を読んでくださった皆様に、感謝申し上げます。楽しんだり、写真からの感動だったり、少しでもありましたら幸いです。それでは…

男女共同参画情報誌

ハートフルかみす

Mar.2026 Vol.45

【編集・発行】

神栖市男女共同参画情報誌編集委員/企画部市民協働課
〒314-0192 神栖市溝口4991-5
Tel.0299-90-1171 〇299-95-9920
URL <https://www.city.kamisu.ibaraki.jp/>

茨城県内の魅力を伝える「電子書籍」ポータルサイト「イバラキイーブックス」
ibaraki ebooks



QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。